

## オリンピックと小見川高校

日本は、コロナ禍により一年延期された二度目の東京オリンピックを令和三年七月に開催しました。一度目は1964年（昭和三十九年）戦後の復興を果たした高度経済成長期で行われました。今回は、東日本大震災からの復興とウィズコロナにおける生命の保全と経済の再生を世界に発信する大会となりました。



mainichi.jp

さてここに立つポールですが、メイン会場（旧国立競技場）の参加国の国旗を掲揚したもののうちの一本です。右の写真のポールのどれと確定はできませんが、どれかであることは間違いがないようです。

以後は小見川高校の旧職員でいらっしやった手塚高瀬先生から先代校長の田中三郎先生が受け取った手紙の要略でなぜ小見川高校に五十七年も前の東京オリンピックの代物があるのかをお伝えします。



[https://amanaimages.com/editorial/select/hischronologyj\\_010\\_1964/](https://amanaimages.com/editorial/select/hischronologyj_010_1964/)

このポールの貰い受けに直接お力を添えてくださったのは、当時の小見川町長であると同時に小見川高校のPTA会長であった山本力藏氏です。山本氏の胸像が同窓会館にあるそうです。実は山本氏の親族は小見川高校に在籍した記録はなく、町長という立場で小見川高校を「町立高校」として面倒を見ていた

いたようです。この後、山本氏は成田空港の「空港公団副総裁」に就任されたそうです。その頃千葉県から選出された有力な国会議員川島正次郎氏と山本氏との関係からオリンピックメインスタジアムのポール払い下げがされたとのことでした。



●小見川高校に設置されたオリンピックのポール

（※）川島正次郎氏のエピソードは『夫夫大河ドラマ』「いだてん」で紹介されました。

オリンピック担当大臣をなさっていたこと、俳優の浅野忠信氏が演じました。



<https://yahoo.jp/Bocxt7>